



# 和紙の産地 越前市



## 手の技術を伝承する 【越前鳥の子紙】 国の重要無形文化財指定

越前生漉鳥の子紙保存会は、伝承者の養成や技術の調査研究等の成果により、平成29年に重要無形文化財の保持団体として国から認定を受けました。同会は、越前鳥の子紙の保存と伝承を行うため、高度な製作技術を有する越前和紙産地の会員により構成されています。

「越前鳥の子紙」とは、越前市今立五箇地区伝承の方法による雁皮（がんぴ）のみを原料にした手漉きの紙です。紙肌は、光沢に優れ滑らかで硬質な質感があり、紙そのものから上級な素材感を十分に感じ取ることができます。

鳥の子とは、紙の色が卵殻の色に似ていることに由来するといわれ、元来中世から用いられていた雁皮紙の呼称の一つです。

今立五箇地区では、室町時代に料紙用の鳥の子紙、18世紀には大判の間似合紙（幅三尺強）等、明治時代以降は襖判（三尺×六尺）を盛んに漉いています。

このため当地では、「越前鳥の子紙」を代表に繊維が細い雁皮を均一な紙に漉きあげる高度な技術が伝承され、厚手の襖紙から極薄の比較的小さな紙まで、多様な鳥の子紙を漉いて提供することができます。



## 越前市今立五箇で製造する和紙

各工房が、原材料と漉く技法を組み合わせ、用途に合った和紙を製造しています。

### 和紙の主な種類

鳥の子紙（とりのこし） 雁皮などを原料に漉かれます。紙の色が鶏卵に似ているところから鳥の子紙と名づけられたといわれます。襖紙、壁紙などに使用されます。

奉書紙（ほうしょし） 楮などを原料に漉かれます。上品でふっくらとした紙肌と優美で洗練された風合いがあります。生漉奉書（原料が楮100%の紙）は木版画用紙の最高級品とされます。

檀紙（だんし） 紙面に独特の皺（シボ）を作った高級紙です。皺には、波皺、菱皺、伊達皺、竹縞皺、横縞皺などの種類があります。

書画用紙（しょがようし） 水墨画、揮毫（きごう）用など、書き味、色合、模様、大きさ、厚さなどを種々の用途に合わせて製造します。

美術工芸紙（びじゅつこうげいし） 平安時代、華やかな王朝文化の中で、和歌・写経等の料紙として、打雲（打曇）・飛雲・墨流し等のすばらしい工芸紙が創出されました。以来、漉掛け、漉込み、漉合せ、水切り、引掛け等、さまざまな技法が編み出されています。

局紙（きょくし） 紙質が緻密で印刷適性と耐久性にすぐれ、証書、カード、美術印刷用、水彩画用として製造します。

### 和紙の主な原材料

雁皮（がんび） 繊維は細くて短く、光沢がある優れた原料です。

楮（こうぞ） 繊維は太くて長く強靱なので幅広い用途に適応し、和紙原料として最も多く使用されます。

三椏（みつまた） 繊維は柔軟で細くて光沢があり、印刷適性に優れています。



「越前和紙 千五百年の技と用具」もご覧ください。 <https://www.washi.jp/yougu/>



## 越前和紙の歴史

今から1,500年ほど前、この村里の岡太川の上流に美しい姫が現れて「この地は清らかな水に恵まれているから紙漉きをして生計を立てよ」と、ねんごろに紙漉きの技を里人に教えたという。この教えを受けた人々は、この姫を「川上御前」とあがめ奉り岡太神社を建ててお祀りし、その教えに背くことなく紙漉きの技を伝えて今に至ります。

正倉院に残る「越前国大税帳」は、越前産の和紙として現存する最古のものです。また、全国に寺院が建立されると、各寺で行われる写経用紙として紙の需要が高まり、越前でも大量に紙の需要があったと考えられます。そのうち「越前奉書」など最高品質を誇る紙の産地として発展してきました。

明治新政府の「太政官金札用紙」が漉かれたのもこの地です。さらには横山大観はじめ多くの芸術家などの強い支持を得て全国に越前和紙の名は知られています。

そのような長い歴史と伝統の中に育まれた越前和紙の里では、品質、種類、量ともに日本一の和紙産地として生産が続けられています。



紙づくりの現場をご覧ください。越前市今立五箇にお越しください。

※各工房に必ず事前にご連絡ください。(都合によりお断りすることがあります。)

工房	住所	電話	FAX	備考
株式会社五十嵐製紙	越前市岩本町 12-14	0778-43-0267	0778-42-0267	手漉き・機械漉き、襖紙・小間紙
石川製紙株式会社	越前市大滝町 11-13	0778-43-0330	0778-42-0770	機械漉き、小間紙・印刷用紙ほか
株式会社石甚製紙所	越前市大滝町 23-23-2	0778-43-1257	0778-43-1760	手漉き、局紙
株式会社岩野平三郎製紙所	越前市大滝町 27-4	0778-42-0042	0778-42-0410	手漉き、襖紙・日本画用紙・料紙
株式会社長田製紙所	越前市大滝町 29-39	0778-42-0051	0778-42-0050	手漉き、襖紙
株式会社滝製紙所	越前市大滝町 27-30	0778-43-0332	0778-42-0583	手漉き・機械抄き、襖紙・小間紙
R Y O Z O (柳瀬良三製紙所)	越前市大滝町 10-1	0778-42-1155	0778-42-1155	手漉き、模様紙・小間紙
有限会社やなせ和紙	越前市大滝町 24-21	0778-43-0639	0778-43-1833	手漉き、襖紙
有限会社山喜製紙所	越前市大滝町 31-20	0778-43-0526	0778-42-0526	手漉き、雁皮紙
山崎吉左衛門紙業	越前市不老町 14-27	0778-42-0068	0778-42-0068	手漉き、檀紙

※観光で工房見学をされる場合は、有料の場合があります。あらかじめ工房にご確認ください。



越前和紙産地マップ [https://www.washi.jp/view/view\\_member.html](https://www.washi.jp/view/view_member.html)

## 越前和紙にふれる、越前和紙の里

越前和紙の里では、紙漉き体験、職人の紙漉き作業の見学などを行うことができます。

**パピルス館** 紙漉きを実際に行える体験型施設です。(※入館料無料) スタッフのサポートで、自分だけのオリジナル和紙を作ることができ、一度に 80 名の同時体験も可能です。

**卯立の工芸館** 越前和紙の熟練した技を持つ職人の紙漉き技術に触れることができる施設です。

昔ながらの道具を使った原料作りをはじめとして、紙漉きから乾燥までのすべての手漉き和紙抄造の流れが一目でわかるようになっています。

このように手漉き和紙の全工程を一工房内で見学できるは全国でも唯一ここ越前和紙産地だけです。※卯立の工芸館では伝統的な流し漉きを体験することもできます。

**紙の文化博物館** 紙の文化博物館では、越前和紙の長い歴史や製作工程・和紙をとりまく人々の営みなど、さまざまな資料でわかりやすく展示しています。



●パピルス館  
/TEL:0778-42-1363  
/開館時間 9:00~16:00  
/休館日:毎週火曜(祝日は営業)、  
年未年始

●卯立の工芸館  
/TEL:0778-43-7800  
/開館時間 9:30~17:00(紙漉き  
見学 16:00 まで)  
/休館日:毎週火曜(祝日は営業)、  
年未年始

●紙の文化博物館  
/TEL:0778-42-0016  
/開館時間 9:30~17:00(入館  
16:30 まで)  
/休館日:毎週火曜(祝日は開館)、  
年未年始



←Googleマップ 福井県越前市新在家町 8-44 パピルス館など

## 越前市今立五箇 周辺観光地

### タケフナイフビレッジ

700年の歴史を持つ、国指定の伝統的工芸品・越前打刃物。一流料理人たちも認める切れ味で、世界から注目を集めています。

タケフナイフビレッジの共同工房では、鍛造から研ぎまでの一連の作業風景を見られます。

- ・福井県越前市余川町 22-91 電話 0778-27-7120
- ・9:00~17:00 年中無休（年末年始は休み）
- ・入館無料



### 御誕生寺（ごたんじょうじ）

「猫寺」としても知られている曹洞宗の寺院。現在の本堂が完成したのは2009年のことで、寺の建設中に捨て猫を4匹拾ったことが「猫寺」としての始まりでした。

ここで世話をした猫は250匹に及びますが、副住職の里親探しやSNS活動によって現在は20匹にまで数を減らしています。里親との縁を数々結んだことから、実は「縁結びの寺」としても現在多くのカップルが訪れています。

- ・福井県越前市庄田町 32 電話 0778-43-6081
- ・7:00と15:30は餌の時間 年中無休
- ・見学無料



### タンス町通り

旧北陸道（国道365線）沿いの中村病院駐車場前から西へ向かう道、約200メートルの通りをタンス町通りと呼んでいます。和洋家具の製造販売業者や建具商が集まっています。越前筆笥は、平成25年12月26日、経済産業大臣指定伝統的工芸品となりました。技法は江戸後期から伝わっています。ケヤキやキリ等の木材を独自の指物技術によって加工し、鉄製金具や漆塗りで装飾していることが特徴です。



### 万葉菊花園（まんようきっかえん）

たけふ菊人形に展示する「千輪菊」「五重塔」「懸崖菊」など伝統的な菊栽培を行っており、菊の栽培過程を見学できます。また近くの「味真野苑」内には「万葉のロマンと恋の歌」をコンセプトに万葉歌人の歌などを展示した「万葉館」があります。

- ・福井県越前市余川町 22-96-1 電話 0778-27-7800
- ・9:00~17:00（月曜日（祝日を除く）、祝日の翌日、年末年始は休み）
- ・入館料無料



越前市の観光・イベント情報は、越前市観光協会へ <http://welcome-echizenshi.jp/>



### 和紙のご相談は、福井県和紙工業協同組合（和紙組合）へ

この越前市今立・五箇は、用途に合った、様々な種類の和紙を製造することができます。越前和紙に関しては、和紙組合にご相談ください。

名称 福井県和紙工業協同組合（〒915-0232 福井県越前市新在家町 8-44 パピルス館内）

電話 0778-43-0875 FAX 0778-43-1142（営業時間 8:00 ~ 17:00 定休日 土・日・祝日・年末年始）

E-mail [info@washi.jp](mailto:info@washi.jp)



ECHIZEN WASHI <https://echizen-washi.com/> 福井県和紙工業共同組合コンタクト <https://echizen-washi.com/contact/>



発行 越前市役所産業政策課 電話 0778-22-3047